

早稲田大学人間総合研究センター主催シンポジウム

「衰退する農村地域の 再編を考える」 —新たな農村文化創造の日欧比較

2016年

11月26日 **土** 13:00-18:00

早稲田大学早稲田キャンパス3号館 601教室(東西線早稲田駅下車5分)

講演・パネリスト:

「農山漁村生存の論理と実践—文明論的視座から問う」

糸長浩司 (日本大学、環境建築学/農村計画学)

「リスクに晒されるマイノリティースペインピレネー地域の文化主義と平等」

Gaspar Mairal (スペイン・サラゴサ大学、社会人類学)

「遺産化される農村—スペイン・ガリシアの『故郷は農村』祭りを通して」

竹中宏子 (早稲田大学、文化人類学) *コーディネーター・司会

「地域の内発性を引き出す方法と社会関係資本」

福与徳文 (茨城大学、地域計画学/農村社会学)

「農村文化創出と社会的企業および内発的地域政策」

柏 雅之 (早稲田大学、環境経済学)

「フランスの地域循環型農業を隠岐に

—農畜産業からファームレストラン実践の日欧比較」

遠藤亜希 (有限会社アグリおき、和牛畜産/レストラン経営)

コメンテーター:

天野正博 (早稲田大学、地球環境学)

原 知章 (早稲田大学、開発人類学)

共 催: 持続型食・農・バイオ研究所、早稲田文化人類学会

後 援: 農村計画学会、共生社会システム学会

※英語通訳(逐次)あり、参加費無料、学生・教員・市民参加可能

シンポジウムHP <http://warchssimp2016.web.fc2.com/index.html>